京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

●金剛山行(二)

鈴木生

とある客主へ飛び込んだ溫突の中は随分きたないのであるけれども田舍だもの我慢をした草鞋を脱いで入つて見ると既に先客が一人ある日本人で年は三十の上を越ねたらしい中肉の男だメリヤスのシヤツにカーキ色の小倉服の上衣それに白木綿のツルマキを羽織つて居る壁にかけた麥藁帽子も此人の物らしいが去年の海水浴に使つたものに違ひない話して見ると日清戰役に兵士として渡韓し滿期除隊の後今に至る迄ぞうしてズツト韓國に居るのだどの事だ何をして暮らして居るのか詳しくは話さないけれども始終田舍に入り込んで居る樣子である此男は右の眉の上に大きな傷を受けたものらしく繃帶で頭の上半部をクルクル卷いて居るのでその傷はどうしたのですと聞くと暴徒にやられたのですと云ふ何所でと聞くと江原道でと云ふ江原道はこれから我等が行く先である其所に暴徒が出るのか居るのかサリトハ氣がかりである。(以下其人の談)

その夜も更けて二時頃のことである、不意に頭部を非常な勢で打たれたので、家の棟木でも頭へ落ちかゝつたものかと、餘りの痛さに聲も出ず、思はず頭へ手を觸れると右の眉の少し上から糊の如き血汐が滴る、開け放たれた室の入口からは月の光が差し込んで居る、傍には血にまみれた木枕が轉んで居る、三人の韓人が草鞋も脱かずに踏み込んで居る眼を皿の樣にして、さては此奴とはね起きんとするを遽を三人の男がかゝつて、即座に繩でかん搦め、兩手兩足は云はずもがな、不動の金縛りも之には過ぎじと思ふまで、力をこめて縛りたり、最早かくなれば詮すべはなし、蹶く胸を押し鎮めやら男の面を見上ぐれば、豈圖らんや、ではうもいかに宵の中語り交はした金掘りのヨボとチョンガなり、今は瞬時も躊躇すべきにあらず「コラ人達じやないか、この己をどうするのだ」と詰れば三人の男はあざ笑ひ「人達でも何でもない、これからお前を嬲り殺しにしてやるのだ」と、ニヤラチヤーと悠長なかけ聲で、私は只ある河原まで運ばれた、河原の小石の上へ投げられた、棒ちぎれでピシヤリ〳〵やられるので痛いの何のと云ふ考は今は少しもないのである殺すなら一思に殺して呉れろと叫べば叫ぶ程棒ちぎれの雨は強く降つて、今は全身紫色に腫れ上り氣息は奄々今にも死ぬかと思はれた。

時しも月の光は雲にかくれて暗く川の水は夜の秘密を囁き冷氣は身に滿ち、萬籟寂として死せるが如きに俄然けたたましき一種の叫聲は起つた、これと同時に三人の男は一齊に打擲の手を止め聲のする方向を望んだ、第二第三の叫びは續いて起つた、人の走つて來る足音までが聞へる、第四の叫びは明らかに聞かれた、「日本人を殺すなあ」これを聽いた時の私の嬉しさはどうであつたらう今までの痛さは忘れはてゝ、縛繩が少し緩んで樣に感ぜられた。

●滿韓石炭の優劣(二)

平壤無煙炭との關係に就き先づ其價額を想像するに現在は輸出税四十五錢を要するも將來は輸出及鑛業の兩税にて共に約二十五錢に引下ぐる豫定を以て目下清國政府と談判中にあり故に運賃を一噸一錢とすれば新義州に於ての價額は撫順炭約四圓本溪湖炭約四圓五十錢位にして平壤に於ては撫順炭約五圓五十錢位にして本溪湖炭六圓內外にて得らるゝこととなるべし而して平壤炭を見るに現在の採掘費は可なり要し居れるも適當なる起業費を投じて設備を完成したるときには採掘費も從て安價となるべきが其の質は粉炭なるに依り之れを其の儘何程の程度まで使用し得るかは目下試驗中にて知ること能はざれども之れに餅塊性の石炭とピッチを混交し煉炭を製造する時は燃料として頗る優等なるものを得らるべし!鑛業所は襲に德山の煉炭所に依頼し出來上りたるものを京仁及京釜線にて試驗したるに其成績は此煉炭に對して順撫炭は五割九炭は二割乃至二割半を多量に要したり而して煉炭の製造費は原料の粉炭が適當なる設備の成りたる後には安價に得らるゝさピッチも近來は廉價になり來りしを以て單獨性の配合にて五圓八十錢餅塊性の配合煉炭にて六圓二三十錢を要すべし故に平壤附近に於ける價額は煉炭と撫順炭及本溪湖炭とは大差無しと雖、煉炭一噸に對しては撫順炭五割本溪湖炭二三割を多量に要するを以て(九州炭と大差無きもの)と假定して實際の價額は平壤煉炭の方遥かに德用なり依て平壤の鑛業所に適當の設備を加へ之れを煉炭に製造して廣く江湖の需用に供するよふなしたきものなり云々

新刊紹介

●實業之世界(十一號) 野依式の活氣縱橫所謂注目す可き十大活字は一讀の價値あり三浦將軍の痛快談は異に痛快也(發行所東京芝三島町實業之世界社)

●關港と附近市場との經濟及交通關係(第一卷) 度支部の編纂にして釜山稅關の報告に係るものにして有益なる參考資料

●韓國中央農會報(八號) 韓國に報ける唯一の農業雜誌にして記事豐富韓國小作慣例調査被覆下の作物に就ての如き韓國農事經營者の爲に有益の文字也(發行所京城大和町韓國中央農會)

●商標公報(九號) 統監府特許局の編纂發賣所は日韓書房

●銃獵界(九號) 銃獵の季節は來れり此書は好獵家の好伴侶(發行所橫濱金丸銃砲店)

●芳譚(十月號) 立志談成功談衞生談等雜然たるも眞面目にして少しも衒氣なき好雜誌(發行所東京下谷徒士町芳譚雜誌社)

第十一席

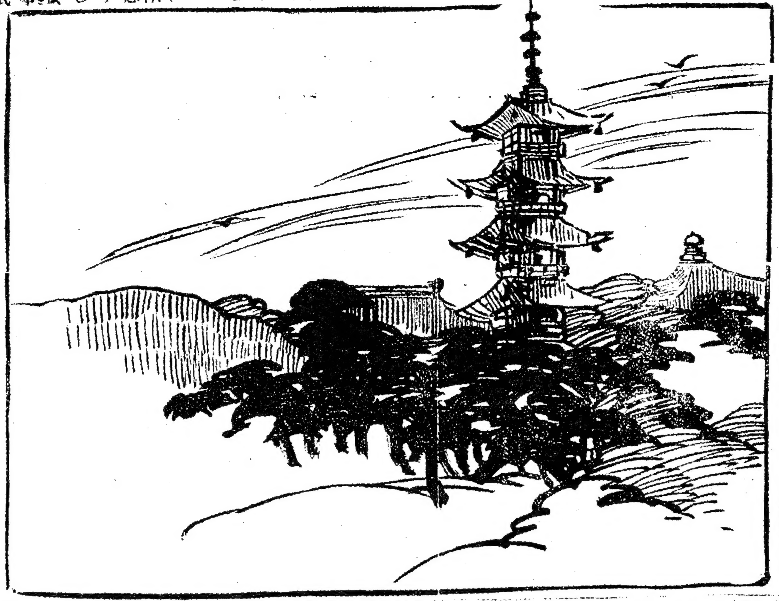
伯山改 神田松鯉口演

其内に東天も白み鳥の森を離れて鳴きます頃、忠國も馬に鞭呉れて、數多の士卒を伴れ來りました此時忠國は此体を見て 忠「アレ射て落せ」と、焦燥ち叱すが此塔は五重にして高き岳の上に建つて前には樫松屈曲して枝を交へ、霞を籠めて雲に聳へ、其の高さ幾千なるを量られませんから、假令發由利克用の輩が此所へ來つて見たとて、射て落さん事思ひも寄らず、若し射損じたる時は其の身のみならず主君の恥辱なりと思ひ我れ射て取らんと云ふ者がありません、猿は遥かに人を見下しまして、尻を此方へ向けて打叩き或は睡る容体などして人々を侮りまする爲体、忠國を見て、國大に怒り切齒をなして 忠「這は安からぬ事なり我家武門に列なりながら、苟しくも人の爲めに輕蔑されし事なし、然るに此の畜生我を恥しむる事斯の如し、實に忌はしき彼奴が容体、若し立地ろに打殺して體になさずんば、再び館へも歸るまじ」と、罵しり立れど又何如とも詮術もありません、忠國フト一策を案出し打手の紀八を近く招かれまして 忠「汝、個樣〳〵に書きつけて寺の門へ貼置けよ」と、命せられ紀八は懐中より紙を取出し押伸して墨斗の墨をもつて認ため し文に

文珠院の塔上の猿を射落したる者は最愛の女兒白縫をもつて妻はすもの也

久壽元年三月日　阿蘇三郎忠國

と書き終り、頓て門の柱に貼せました、里人等是れを見まして 甲「何んだ彼の猿を射て落す者は、當國の阿蘇家の婿になられるんだ」と、諸人之を言傳へ聞き傳へまして中には ○「ヲイ〳〵何うだ、彼の猿が弓で射られるか 乙「何うして彼樣に高い五重の塔尖珠に居る奴が、一体な弓で届くものか 甲「彼の猿を射て取れば、れ姫樣の婿になるんだ 乙「猿ア射落さずとも白縫姫の婿になりたいなア 甲「手前なぞが白縫姫なんて及びもしねへ事だ 乙「だおやア、和郎は弓が出來るか 甲「弓は出來ても、彼樣高い所では届ねへから 乙「夫では駄目な事だ」と此評判が高くなり〳〵黑山の如くに群集して樣々な事を言つて居ります、此所へ八郎爲朝は、阿蘇宮へ詣でんと、從者に彼の鵜を擔がせまして、文珠院の邊りを通り掛り給ふに、數多群集にて、門の柱に如此〳〵の事を書き貼つてありますゆゑ爲朝思ふに 爲「ハヽア是れだな、夢の告げに容貌美き妻を娶る事ありと云ひしは此事なるべし」と曉り給ひ、頓て門內へ進み入り、忠國に對ひ 爲「某、彼の猿を射落し進らすべし」と、いと事もなげに宣まふを聞まして、忠國は、其の人物を見るに、年頃は十六七にして筋骨逞ましく面飽くまで白く鼻高く眉は翠にして青山の如く唇は紅にして春花の如し、耳厚く、瞳は二つあつて身の丈け七尺餘なれば、之れ凡人ならずと思ひ深く驚嘆して 忠「御身能く彼の猿を射て給はば、某が婿となさんに、何の仔細か候はん」と聞て 爲「然らば弓勢の程をも知らせまゐらすべし」と、從者に持せたる所の、弓矢を取り、岳の邊りに歩み寄り給ふを見ますするに、弓は鐵の棒を押たはめたる如く、鏃は恰も槍の穂の如くなれば、忠國は申すまでもなく、衆人大いに驚き 從「斯る強弓を引く者、古しへより聞きし事なし、況してや、今の世になをある筈なし」と、評して居りました、彼猿は爲朝を見て、今まで逃れ難き事を知りましたと見えて、頻りに歎く如き容体でございます、折柄當寺の住職此事を聞きまして、役僧を遣して忠國に告げますに 僧「抑も當山は仁明天皇の勅願所にして、弘法大師の開基なり、殊に彼塔には勅封の佛舍利を納めたる所なるに、之れに向ひ弓を彎くは朝敵佛敵に均しからん、且つ彼猿如何なる罪ありとも一度寺內に入りたるものを、ムザ〳〵と殺すこと我々の忍びざる所ろなり、彼といひ是れといひ、此度御宥免に預りたし」と申述ぶ。



割烹界の福音 味の素

「味の素」は調味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺くべからざるもので、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、その上鰹節や、昆布の樣に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く即座に忘れる事のできないうまい飲食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店

歐米食料品雜貨

直輸入商

京城本町二丁目

辻屋

本店 電話二四八番
支店 電話二六六番

滿韓連絡

旅客手小荷物

本月廿一日より當廳線と南滿州鐵道株式會社線相互間に於て旅客手荷物連帶直通輸送を開始し同時に小荷物の連帶取扱區域を擴張致候

明治四十二年十月

統監府鐵道廳

明治廿年七月創立 京城代辨店 本町四丁目山口呉服店 電話九番

東京火災(海上運送)保險株式會社

資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

代書
ゴム印彫刻

京城本町一丁目 南部警察署前

成巧館代書部
成巧館彫刻部

菊料理と菊花壇

秋冷の候各位愈々御清適奉大賀候陳ば弊樓獨特の菊花數千輪今を盛りと咲き亂れ候に就ては庭園及大廣間に菊花壇を作り供しを設け書間は横門を開き無料にて隨意御觀覽に候尚今回は東京より喫茶店専門の料理人を雇入候間御婦人樣方御連立御散歩旁々御來觀被下度候又菊見の菊料理は至極妙味に有之候條何卒賑々敷御來遊被下度奉待上候

大々的

菊料理會席 御一人前 七十五錢

一可相線
子祝生外
(イロ順)
富次勝枝貞子三四吉
千八染才白三里年
力彌常子笹涙紺
音羽松葉君香百代
若竹小蝶銀鳥壽美子
仲居一同

京城新町

大桝屋

電話六二番

旅順表忠塔竣工廣告

旅順表忠塔竣工に付來十一月廿八日同地白玉山に於て竣工名并臨時招魂祭擧行候間同方面に於る戰病死者の遺族及醵金者諸君に告ぐ

追て參列希望の向へは參列券并汽車汽船共通半額割引證(新橋平沼名古屋京都大阪神戶廣島博多長崎熊本驛と旅順驛間の往復に限る)汽船貫半額割引證(內地某港より大連間大連旅順間汽車割引證とも)差遣候に付遺族は戰病死者の隊號姓名官等姓名及其續柄住所氏名に醵金者は住所氏名に共通割引證又は汽船割引證所要の旨を明記し來十月廿日迄に當所に請求されたし

十月八日

東京青山第一師團司令部構內
旅順表忠塔建設委員事務所

マルシイド醬油

京城永樂町
藤原支店
電話八九番

日本醬油株式會社

美術襟半帯上帯締其他組類各種
京城南[illegible]町一丁目
金ゑり徳商店

京城新報

東京經濟協會に於ける峯岸本社長の演說（二）

●●●●土地證明規則　韓國にては從來外國人が土地所有が出來なかつたのみならず、韓人が外國人に土地を賣却せば罰せらるの法律がありました、然るに土地證明規則が制定せられてから其土地家屋の所有權が確實になりまして、韓人は安心して之を賣却することが出來、日本人も亦安心して之を買取ることが出來るやうになりました、即ち土地家屋が金に換はらるゝ途が就きましたから、韓人は此土地證明規則に就ては別に異議を唱へませぬ、此は梅博士の發明であつて良き効果を奏しつゝあるのであります、今度の司法權の委任に就ても一般韓人の內に一人も反對する者が無い、却て日本は今頃斯んな事位をやるのに苦心して居るのかと笑つた者があつた位であります、只心ある韓人は法律制度は改良さるゝに隨ひ、大に良くなるが之に依りて保護さるべき韓人の財産が無くなるには困らざるを得ぬと嘆息した者が多くありました、

●●●●統監の産業政策　前統監は産業の發展には餘り力を傾注しなかつたのであります、否他に澤山仕事があつた爲に傾注する遑が無かつたのであります、但し度支部の仕事だけは見るべき成蹟があります、左の狂歌が聊か消息を表はして居ります、

阪谷のあたまで目賀田腹をきめ
　あとを荒井がしめくゝりする

右の狂歌は觀光の爲京城に來た或紳士が口吟せられたのである、

●●●●鑛業未墾地法　鑛山未開墾地等が鑛業法未墾地法等に依て所有者が確然と定まりました、併し其所有主が一定するに及び鑛業は却て發達を遲くした樣に見ゑます、特に砂金採取法に就て云へば例へば平壤附近の砂金の如きは從來は自由に之を採取したから各人が相應の利があつたが、之が一定の採取區所有主に歸するに及び、採取料金を出さねば之を取ることが出來ず、料金を支出しては割に合はぬことになりました、大體に於て二三鑛山の外は皆今日採掘事業は振はぬ有樣であります、

●●●●暴徒と不景氣　法律制度が整頓して來た爲め、韓人は秩序的生存競爭に堪られなくなる者が多く、彼等は益々貧乏に陷りつゝあるのみならず、賣官、收賄等が行はれ得ぬことになりましたから、金融が惡く、統監府や軍隊が散する金が流通して漸く其景氣を保持する有樣で、其不景氣は到底內國の比でありませぬ賣官、收賄が公行せぬこととなつた爲め、其不平の徒は京城を去つて地方に至り富豪に迫りて金を出さしめ、地方人を煽動して盛に排日熱を鼓吹して居る有樣であります、到る所左樣でありますから、韓國內地殊に南韓は甚だ危險で日本人は暴徒の居る地方へは住居も旅行も出來ざる有樣になつて居ります、今でも暴徒が日本人を殺害し其婦を姦し其財産を掠奪する等の事が尠からずあります（以下次號）

東京電報

▲來年度の總豫算

今回內閣會議に於て決定したる明治四十三年度歲出豫算額は五億三千六百万圓にして其內譯は經常歲出額四億二千二百万圓臨時歲出額一億一千萬圓なり（十九日）

▲伊公と憲政顧問

伊藤公は滿洲より北京に立寄り北京政府の顧問として清國憲政施行準備に關する諮問に應ぜん豫定なりとの說あり（十九日）

▲韓鐵合併は事實

韓國鐵道を鐵道院に合併するの件は翌日伊藤公、曾禰統監、後藤遞相、大屋長官等會合の際合併に決し居れるものなるを以て不日統監府鐵道廳より發表すべしとの說あり（十九日）

▲韓國太子の歸京

輕井澤に觀楓旅行中なりし韓太子殿下は昨夜上野着列車にて歸京されたり（同上）

▲重野博士の危篤

文學博士重野安繹翁は病氣危篤なり（同上）

雜報

●曾禰統監の謁見

去る六月以來宮中の御都合又は病氣等の事故により謁見せざりし曾禰統監は明後二十一日參內謁見の上病中御見舞に對する御禮を言上し其際新任の石井少將榊原憲兵隊長小倉經理部長及び夫人を帶同する由なり

●間島と領事警察

間島に於ける統監府出張所は過日赴任せし永瀧總領事の着任と同時に引揚の準備を爲し一方に於ては總領事館の開館に就て急ぎつゝある由なるが從來領土權の所屬未定なりし時代に於ては日清兩國の間に小競合の絕ゆること無く今日にても尙衝突を來し居れる由なれば今後の日韓人保護の下に就ては大に考慮を要すべきものなるにも拘らず統監府は是迄駐劄し居りし軍隊を引揚げ領事警察に一任する筈なるが今後日清關係の衝に當れる永瀧總領事は大に手腕を要すと

●司法廳官制の要領

一統監府司法廳は統監の管轄に屬し韓國に於ける司法及び監獄に關する行政事務を掌る
一司法廳職員は長官（勅任）參事官專任三人（奏任）（內一人を勅任と爲す事を得）書記官專任二人（奏任監獄事務官專任一人（奏任）屬通譯生專任三十八人（判任）
一長官は統監の指揮監督を承け廳務を掌理す長官事故ある時は上席の參事官其の職務を代理す
一參事官は長官の命を承け審議立案を掌る
一參事官は臨時命を承け廳務を掌る
一監獄事務官は長官の命を承け監獄に關する事務を掌る
一本令は明治四十二年十一月一日より施行

●監獄官制の要領

一統監府監獄は統監の管理に屬す監獄の設置及び廢止は統監之を定む
一控訴院檢事長は統監の命を承け其の管轄區域內に在る監獄を監督す
一監獄の職員は典獄九看守長七十五通譯生九人
一典獄は統監及び控訴院檢事長の指揮監督を承け監獄の事務を掌理し部下の職員を指揮監督す典獄は判任官待遇職員の進退を專行す
一前記職員の外監獄醫、敎誨師、藥劑師、看守及び女監取締を置く其の定員職務及び懲戒に關する規定は統監之を定む
一統監は必要に應じ分監を置く事を得

●裁判所令の發布

一昨日發布されたる統監府裁判所令は全文三十箇條にして其要領は統監府裁判所は統監に直屬し韓國に於ける民事刑事の裁判及び訴訟事件に關する事務を掌るとある裁判所を分ちて區裁判所、地方裁判所、控訴院及高等法院とす統監府裁判所及檢事局職員の定員は各裁判及檢事局を通じて如左

判事　三二九人　檢事　八五人
書記長　四人　通譯官　四人
書記　三六八人　通譯生　一八七人

一韓國人にして判事又は檢事たる者は民事に在りては原告被告とも韓國人たる場合刑事に在りては被告人韓國人たる場合に限り其職務を行ふ
一高等法院檢事局に高等法院檢事長を置き檢事長は統監の指揮監督を承け其の局の事務を掌理し下級檢事局を指揮監督す
一本令は來る十一月一日より施行

●對韓國人と司法

韓國人司法に關する件發布さる要領如左
一、統監府裁判所は本令其他の法令に特別の規定ある場合を除くの外韓國人に對しては韓國法規を適用す
一、韓國人と韓國人に非る者との間の民事事件に付ては左の變更を以て日本法規を適用す但韓國人に對する裁判の執行は韓國法規に依る
（イ）原告又は被告口頭辯論の期日に出頭せざる場合に於ては裁判所適當なりと思したるときに限り中立に依り又は職權を以て缺席判決を爲すことを得
（ロ）民事訴訟法第百十一條第二項第三項第二百十條、第二百四十六條乃至第二百四十八條、第二編第二章第二節第四百二十八條及第四百二十九條の規定は之を適用せず
一、檢事又は司法監獄官は統監の許可を受け韓國の親任官又は勅任官を逮捕する事を得但し急速を要する時は直に之を逮捕し報告を爲すべし
一、假出獄に關する規定は韓國法規に依り處刑せられたる者に又之を適用す
一、本令は明治四十二年十一月一日より之を施行す

●警務豫算編成に就て

來年度に於ける警務豫算は曩きに司法行政の二に分ちて編成したるも今次我政府より支出さるべき司法警察費二十七萬五千圓は直ちに之を度支部に交付し度支部は更らに之を警務局に移送すべきに付き同局にては司法、行政の兩警察に區分すること困難なる事たるに依り便宜上兩警察を合せたるものを編成する方針なりと尙は來年度の警務豫算は屢々報導したる如く警察署の增設に伴ふ結果本年度の二百七十万圓より約五十万圓を增加するに至るべしと云ふ

●鐵道運動委員の上京

京城、木浦、仁川、龍山、群山等の各關係地より相當の鐵道期成運動員を東京に派遣し極力議會に對して運動し政府提出に係る京元湖南兩鐵道布設費の通過を計るべしとの事に評議一決し來月上旬迄には悉皆着京出揃ひの筈なるが運動費の支出に就き會議所々在地は兎に角龍山の如き之を欠くの地は民團の支出を仰ぐは違法なるを以て期成組織に依りて出費の方法を求むべしと云ふ

●東拓漁業と移民規則

東拓會社の漁業經營は明年より着手する筈なれば其の方法に就きては目下調査中なるを以て未だ成案として見るべきものあらざるも會社の意嚮は之れを下請負人に一任して自から其の監督を爲すと同時に漁業移民を勸誘して之れに相當の資金を貸與し陸上に於ては魚市場の設備を爲す等のことは確定し居れるものゝ如く移民規則は既に其の草案も脫稿し居れりと云ふ

●來年度地方局の施設

內部地方局來年度施政方針を聞くに本年度に於て全道約三百三十郡に日本人主事一名宛を配置すべき方針なりしも經費の都合上五十郡に削減されたるが日本人郡主事の配置郡は日尙淺きに拘はらず施政の大いに見るべきものあるに依り來年度に於ては殘り二百八十郡に對し一名以上の日本人郡主事を配置し得べき經費を計上する方針なりと

●定州實業學校の設立

平安北道定州に於ては學校設立の件に付久しく紛擾ありしが先般學部官吏該地に出張し充分調査を遂げ說諭する處あり漸く迷夢を去り解決の上公立實業學校を新設することゝなり數日の內認可さるべき筈なりと

●官私立學校連絡交涉

私立學校總代崔在學氏は十八日學部を訪問し私立學校全體の決議を齎し官立學校との連絡上に關する種々の問題を提議し其贊同を促したるに對し俵次官は學部の方針を說明し到底其要求の容られざるを諭示せりと

●兩黨聯合の大演說會

來る二十三日午後一時より獨立館に於て開催せらるべき政談演說會に於ける主なる辯士及び演題は尹孝定氏の兩黨聯合の趣旨、鄭雲復氏の國民一致の勢力等にして其他尙は二三知名士の演說もあるべしと云ふ

●九月中京城金融狀況

九月中の京城金融狀況は前月に比すれば多少の活氣を添へたりと云ふを得べし即ち[illegible]の資金を要したるに因を以上の如く一時するに多數の買出し多物仕入等資金の需要を喚起したる折柄更に綿銀絲聯絲の爲め多[illegible]一層資金の充實を要し[illegible]稍や閑散の狀態に在ると雖も近く韓銀引繼と共に第一銀行支店の開始を見るに至らば[illegible]

●仁川郵便局柴田電話係長は仁川より海州、[illegible]連絡すべき瓮津、大灘、長淵間[illegible]暴徒討伐上に尠なからざる利便を得べしと

●兩派政見委員の選定

[illegible]會にては尹孝定、吳世昌、鄭雲復以下七名[illegible]進會にては洪肯燮、俞鶴柱、韓錫振、徐永年、金澤庭、韓敦淵以下十六名の委員を舉げたり

●法學校官制の發布期

法部廢止と共に存廢の議ありし現法官養成所は法學校と改稱し依然存置し之に關する官制は來月一日發布同日より施行さるべし

●眞野學務局長の入京

滿洲視察中の文部省眞野實業學務局長は廿一日安東縣着の上學部より出迎の上田編輯官と同行平壤を視察し廿四五日頃入京の筈

●日本留學卒業生諭示

日本留學官私費卒業生にして未だ就職せざる八名を十八日學部に召集し俵次官は彼等に對し將來の心得を諭示する處ありたりと

●文官養成所設置計畫

日人大深義介、韓人趙漢鑾等發起となり判任文官養成の目的を以て文官養成學會なるものを設立せんとて目下運動中なりと云ふ

●韓人警部の試考成績

頃日來地方道廳より推薦の十九韓人巡査に對する警部採用試考の結果七名及第採用の事となり昨日夫々採用證を授與されたりと

●兩實業學校の補助金

咸鏡北道會寧及び鏡城咸一に於て兩實業學校を新設したるに對し今回學部は獎勵補助金として二百五十圓宛を下附したりと

●電信事務取扱の開始

仁川郵便局管內なる江華、安岳、長連の各郵便取扱所にては來月一日より一般公衆の電信事務取扱を開始すべしと

●日本人警察官の資格

法權委任と共に韓國の日人警官は警視より巡査に至る迄統監府職員の資格に轉換さる

●內部土木工事の復舊

一時虎疫旺盛の爲め同部內工事も虎疫終滅に就き去る十七日より復舊工事開始せり

●統監邸定例閣議

十九日午前十時より開會（趙農相不在、李學、任度兩相は病氣にて缺席）新裁判制度の準備に就凝議す

●臨時參與官會議

別項大臣會議散會後各參與官は統監府總務長官室に集合し新裁判制度の實施に就き打合をなしたり

●敍任辭令

左の通り辭令ありたり
補平壤控訴院書記長（六級）　村上唯吉
給七級俸　內部技師　岡田宗太郎
依願免本官　郭山郡守　金道濬

●豐作と米價下落

本年の米作は日本は開闢以來未曾有を稱する程の豐作なるが韓米も亦平年以上の好況にして之が爲め米價は近來倍々下落の傾向を示めし現に京城にては上白一石十一圓二十錢を唱へ前途十圓以內に蹴込まんとするの形勢なり斯くては折角の豐作も却て凶作に異ならざる減收となり農民の購買力に何等の好影響を與へざるを以て豐作の爲に景氣の挽回を期待する能はざる奇現象を呈すべし

●一銀貨幣發行高週報

第一銀行券總發行平均高（自十月十日至十月十六日）	一一、五三五、九〇〇
內　正貨準備發行高	三、九〇一、四〇〇
保證準備發行高	七、六三四、五〇〇

銀行券平均手許有高	八二九、八九九
銀行券市場平均流通高	一〇、七〇六、〇〇一
硬貨發行額（十月十六日現在）	四、八六六、二三〇
內　金貨貳拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同　拾圓	五〇〇、〇〇〇
同　五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	七三八、〇〇〇
同　貳拾錢	九一二、〇〇〇
同　拾錢	七五五、五〇〇
白銅貨五錢	七六一、八〇〇
青銅貨壹錢	一八一、六二〇
同　五厘	六七、三一〇

●京城民會と問題

一昨十八日の京城居留民會は午後七時より民團樓上に開く先づ日韓瓦斯會社に關する件に就き開議したるが各議員の意見區々に分れ時を移すこと約三時にして漸く原案「公共用點燈料は三割以內」とあるを「二割以上三割以內」と修正して之れを可決し其より明治四十一年度決算報告の件に移り各員と當事者との間に數度の質問應答ありたる處結局從前の調查委員の外更らに古城、山口の兩氏を加へ再調查に附することゝなり散會したるは十二時過ぎなりし次會は未定

●決算委員理事官訪問

昨十九日曾我、山口、中島等の民團議員は年度決算報告の件に關し三浦理事官を訪問

●●●●●●九月中京城商況

九月中商況は引續き平靜なるを免れず殊に中旬以後虎疫流行の爲めに日韓人共人氣沈靜を極めたるも建築材料たる金物類中浪、平板、木材、板硝子等は時候柄目下繼續中なる官民諸建築工事竣工を急ぎ居るとて好況を呈し前月に比すれば何れも約三割方の賣行增加を示せり其他賣藥類を始め罐詰類、ウイスキー、ブランデー等にありては虎疫の結果需要を增加し又韓人側にては本月上旬は盆の事とて綿糸綿布等の賣行多く本年は昨年に比し春來降雨順調にして農作も約一割以上の收を豫想し居るを以て稍購買力增加の傾向を示せり何れ十月に入ると共に虎疫も終熄し日韓人とも各物仕入及賣出時期に際し幾分人氣恢復し市況氣活を呈するならん

●小川課長の出張

農商工部商工局商務課長小川鶴次氏は名古屋に開催さるべき三府二十二縣聯合共進會及び福岡に開催さるゝ九州沖繩八縣聯合共進會に關する要務及近江附近に於ける麻布の實況調查の爲め二十三日頃出發一ケ月の豫定を以て東京名古屋大津福岡地方へ出張の筈なりといふ

●醬油販賣社組織

日本醬油會社釀造に拘る醬油の特約一手販賣を目的とする合資會社は仁川の加來、奧田、沖津、吉川の諸氏にて組織され近々開業の運に至るべし

●平賀博士の來京

韓國工業顧問工業博士平賀義美氏は二十日午後八時二十分南大門着列車にて來京し天眞樓に投宿の筈

●俞吉濬氏の義捐

漢城府民會長俞吉濬氏は西間島牧民學校補助金として金百圓を義捐し且[illegible]所へ義捐勸誘を爲しつゝあり

●本願寺の女子會　南山本願寺の同會は今二十日午後二時より同寺に於て一時間開會修養に就ての講話並に禮式あり參會隨意

●高義駿氏の遊說　國是遊說團の高義駿氏は十五日平安黃海兩道遊說の途に就けり

●永島巖氏の歸壤　平壤控訴院長の同氏は入京中なりしが去る十八日歸任したりと

●向井巖氏の歸壤　平壤控訴院檢事長の同氏は永島院長と共に去る十八日歸任せり

●飯田章氏の歸任　滯京中なりし京畿道警察部長の同氏は十八日水原に歸任したり

●憲兵の實彈射擊　仁川憲兵分遣隊は一昨日多所面海岸に實彈射擊演習を行ひたり

●平渡內部書記官　昨十九日歸任したり

近事片々

▲統監　府參羅の木綿業獎勵の爲千餘反買上げんとするもヨボ共中々品物を持來らぬ
▲是は　不思議と調べたら從來官廳の注文に代價を下渡した例がない故だと判明した
▲依之　觀是と統監府の新政今以て彼等に知れ渡らぬのに驚くと御用紙は書いて居る
▲今更　新政が知れ渡らぬ杯驚く御用紙の迂濶さ加減にも驚くまだ〳〵驚く事が有る
▲新政　の難有味を感せぬのみか却て新政を呪て居る者多い日貨業錢の引揚は其一例
▲業錢　取引時代には運搬不便の爲に手形取引が盛に行はれた新貨となりて手形絕無
▲手形　取引は一の便法之に依て地方經濟は比較的圓滿であつた手形止て經濟界慘憺
▲手形　流通は全國を通じ無慮五六千万圓位にあつた夫が千八百万圓の新貨となる
▲是で　は地方經濟が沈滯するのは當然だ故にヨボ共新政は不景氣政治だと呪て居る
▲經濟　狀態を改善せずば到底ヨボに新政の難有味を解させる事は出來ないのである
▲木綿　賈上の如き小刀細工の獎勵よりも地方經濟を圓滿にする施設こそ目下の急務
▲現在　の儘推移ればヨボは益々新政に泣くのである茲に於て日韓一家が必要である
▲祖國　人が今一層安心して放資する樣にせねばならぬ日韓一家は韓國の經濟問題也
▲祖國　の資本がドシ〳〵注入さるゝに至らばヨボは其恩澤に浴し始て新政を喜ばむ
▲米作　可也でも一粒だに祖國に輸出されぬ形勢の本年は經濟界更に不振を來たさむ
▲茲に　於て祖國資本を招かずば二進三進もならぬ羽目とならむ當局尙は覺醒せずや
▲現在　の經濟狀態では獨りヨボ耳ならず在留邦人も總に立行かぬ事になる悟困つた者
▲以是　活識ある者はヨボも邦人も一齊統監の勇斷を望む譯である統監之を解せりや
▲今は　全體枝葉の問題を論ずるときでない經濟上より根本的の解決をなす時である
▲不景　氣に泣く者はヨボ耳でない在留邦人も不景氣に泣く是では迚も經營は出來ぬ

少の活氣を添へたりと云ふを得べし[illegible]
出高に於て日本側三銀行にて四十五萬余圓 金融市場は頗る多忙を極めたりしが中旬以
韓國四銀行に九萬余圓を增加せり是等は要 后に至り虎疫流行の爲め市況の不振に伴ひ[illegible]見るならんか（京城會議所）

●黄海道方面警備電話 [illegible]平壤方面へ連絡すべき[illegible]の警備電話新設[illegible]任せしが愈々近日中より右架設工事に着手する筈にて竣工後は黄海道方面に跋扈せる[illegible]

[illegible]大韓協會員の融和親睦に資するの意を以て政見[illegible]協定委員なるものを選定することに決し大韓協[illegible]以下六名の委員を擧げたり

病院訪問記（三） 中村齒科醫院

△女醫中村安子を訪ふ

昨日午後〇時廾分本町六丁目の中村齒科醫院を訪ふ。院長は中村安子女史日本婦人中外國の醫學校を卒業した女醫の嚆矢だ、來意を通ずれば二階に昇れと云ふ、突當りの八疊の患者控室で待つ女史は今患者の診察中だ、軈て患者の途切れた時分を見計らひ女史は控室に顯れた、年齡正に四十前後長身肥滿にして質素の和裝をなし髮は後に曲げて眼鏡を掛け手を拭きながら着座、約二十分間れ話を聽いた、妾は原籍は千葉縣で先祖から醫を以て業となし現に父や兄は郷里で病院を開いてゐます始め父は妾を婦人醫に爲す考でしたが後都合あつて婦人科は廢しまして西暦一千八百九十三年そうですから凡そ十六年前渡米してペンスルバニア州醫科大學齒學科に入學しましたペンスルバニアから汽車でワシントンに三時間ニユーヨークに四時間で行けます、初めは入學試驗がなか〳〵六ケ敷て一年休みました入學に就てはシカゴの醫學博士高峰讓吉氏の紹介を煩しました大學では四ケ年間專心齒學の結果首尾能く卒業致しましてから同大學附屬の病院で無報酬にて患者の診察に從事しまして實地研究を致しました後幾許もなくして歸朝して東京に於て開業したけれども忽ち妾の健康が土地に適せぬから郷里千葉に返りまして父や兄の病院で暫時手傳ひを致してゐました妾の韓國に來た動機ですか、それはなか〳〵面白いのですよ先年韓國の亡命者で目下地方の觀察使の重職にある申應熙が東京から千葉に逃れて來た際氏は自分の娘を醫師にして由來男子に接するを厭ふ癖ある韓國婦人を診察せしめなば妙ならずやとの事で其愛娘の勉學を妾に托しましたのです又氏の長男は千葉醫學專門學校在學中です其等の關係から申氏は妾に是非渡韓して婦人の診察に從事して與れとて屢次相談を受けたので遂に一昨年十月渡韓して現在の處に開業したのですが來診患者はなか〳〵多く他の病院に比して收入も尠くないのです而して玆處でも韓婦人は面を男子に覗かるゝを厭ふので一人の患者に其夫なり親なりが保護して來て自身も診察室に這入つて監視を怠らず其煩累に堪へず又地方の醫師の紹介狀を携帯して態々尋ねて來る患者も多くある相な時に來診患者あり匆々辭して歸る

●井戸開放と南部署長

▲井水使用者は注意を要す

一時甚しく猖獗を極めし惡疫豫防必要上飲料に適せざる市内の井戸は斷然閉鎖せしが今や虎疫全く終熄せしかば人生一日も缺ぐ可らざる井水の使用禁止を何時迄も繼續するは市民に取り不便此上なければ南部署にては管内閉鎖井戸の臨時檢査を執行し良好なるものに對しては開放すべき方針を取り過日來檢査中なりしが之が等級を甲乙丙丁の四等に分ち甲乙は飲料として使用差支なく丙は雜用を許すも飲食器並に直ちに口に入るゝ食物を洗ふ事を嚴禁し丁は唯撒水の外全く使用を許さゞると嚴命したり而して井戸は此際悉く浚渫し猶は不完全なるものは直ちに改造又は修繕を命ずる由也

●二浮浪漢の拘留 山梨縣甲府生れの鈴木壽太郎（四〇）及び福岡縣筑上村生れ我生勇猛（二四）の兩名は本月初旬永登浦監獄より滿期放免され京龍間を迂路付き廻りたる末一昨日午後三時頃仁川公園地通りをば雨の降るのに傘もさゝず草履穿きにて通行せるを擧動不審の廉に依り刑事に見咎められて仁川署に同行拘留十五日に處し取調中のものなるが京龍間に於て餘罪ある見込なりと

●救世軍賽錢要求 去十七日救世軍館に於て例のミルトンピョックスの布教演説ありし后本日は宣教師ゲール氏の傳道ある筈に就き聽講者は五錢宛を携へ參會せらるべしと宣告したりしが是は多分傳導説教の謝禮なるべしといふ者あり兎に角耶蘇教の賽錢徵發は珍しき事とて評判高し

●雨歌留多會聯絡 既報の通り龍山歌留多同好者の團体漢江會は十七日開會式を擧げたるが頗る盛況を極め終りて宴を開き和氣靄々の裡に散會更に十八日龍山桃山下桃仙閣にて聯絡懇親の意を表するため競技會を開きこれ亦大盛況を極め桃仙閣主會員の款待に意を注ぎ晩餐の饗應をなしたり

●山村派踊温習會 仁川歌舞伎座にて來る廿一日午後六時より踊師匠山村きみ門弟約三十名の温習會を催ふさるべしと

●狐鼠泥棒三件 京城ソンタク、ホテル主人リイホイルは一昨夜絨緞一枚（價格五十圓）を▲本町三丁目十四番戸中村清太郎は去る十六日紙幣金銀貨取交せ二十九圓餘を▲旭町一丁目八十七番戸商芳賀政吉は過日來數回にサッポロビール二本大和紙巻烟草及雜品數點を何れも盜難に罹りたる旨南部署に屆出でたり

●小便して三十錢 香川縣平民當時京城永樂町三丁目六十二番戸石工業藤原吉松（四[illegible]）は去十四日午後七時半頃大和町一丁目の通路に放尿したる廉に依り昨日南部署にて科料金三十錢に處せらる

●義州方面の寒氣 義州よりの近信に依れば同地方にては本月十五日初霜降り又桶の内側に薄氷を結び氣温頗に下降し朝夕は攝氏六度日中は同十二度を昇るまなしと云ふ

●仁川球突競技會 仁川倶樂部球突競技會當選祝を昨日午後五時より同所樓上にて開きたりと云ふ

●雲山の大降雹 去る九月二十九日北韓雲山方面に降雹ありて農作物は多大の損害を受けたりと

●房江拍子の再勤 粹樣れ染園の角谷なかは前名の房江を名乘り壽町一丁目の中券より今晩よりれ召に應ずと云ふ

●一昨夜の新町 遊廓の色餓鬼は總計六十人にて此揚高三百二十圓五十九錢なりとは氣の毒を通り越して可笑い樣なり

●仁川の牛乳檢査 仁川署は昨日市内に販賣せる牛乳に對し乳質檢査を行ひたる由

●秩父屋の開業 本店を埼玉縣秩父大宮町に有せる東京本石町三丁目關根寅吉商店は今春當地巴城館に出張販賣を試みたる際大方顧客より出張所常設の勸誘に接したるを以て爾來其準備中なりしが這回愈々諸般の設備整頓したるを以て明治町一丁目に出張所を常置し秩父縞、裏絹等を格安薄利にて販賣すと詳細は別項廣告にあり

秋の句を募る

▲難かしい規定なし▼

今や秋愈々深くして夜愈々長し、最も詩想を練るに適す、此の季に於て我社は京城吟社の名を以て廣く江湖俳士の玉詠を募る、俳士諸賢希くは奮つて投寄せられんことを、而して選句は之れを當代俳壇の巨匠

角田竹冷宗匠

に懇囑して其の快諾を得たり、敢て句數に制限を設けず多々更に益々多きを歡迎す、入撰の句は順次本紙上に發表し以て京城俳壇の寂寞を破らんことを期待す（宛名、京城新報社內京城吟社）

秋の句を募る

▲懸賞募集にあらず▼

●ゑり徳の大賣出 明治町一丁目の同店にては新流行珍柄夥しく着荷したるを以て廿日より向ふ一週間正札より一割引にて大賣出しを成し大方淑女紳士の愛顧に酬ゆと

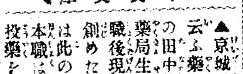
●松善のとろゝ汁 京城曙町大韓日報跡に移轉せし俵すし松善にては會席料理の外今回更に麥飯とろゝ汁を始めたる由

◉公判だより 明日法務院の公判如左 上訴人山本萬次郎被上訴人江崎清次郎外一人間手附金返還請求事件上訴人林甚七被上訴人石田暢間賣掛代金請求事件の口頭辯論ある筈

吉凶 本町五丁目 三一館判斷

十月廿日 舊九月七日 二黑先負癸丑たいら

△一白● 新事見合すべし保證受印、世話事を避くべし△二黑● 謹愼を要すべき日なり負傷盜害を戒しむ△三碧● 不得要領の日なり又濁失錯あり△四緑● 金品授受取引證券印章の事留意すべし間違紛紜起り易し△五黃● 家族從者より損害におふあり保證受印を戒しむ△六白● 快欣なる日なり殊に礦山農業は大に吉△七赤● 利潤を得又は勢力を增すの日なり只遠行殊に舟行は見合すべし△八白● 改易轉變に類する事凶効なし家庭内に少しの心痛あり△九紫● 平凡の日旅行凶 右は槪括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

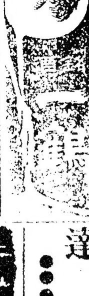


▲平民文庫▲

▲京城明治町通りに蓬萊堂と云ふ藥種商がある其所の主人の田中某君は元植村病院内の藥局生であつたのだが同院退職後現在の所に現在の營業を創めたのであるが、藥種商とは此の世を忍ぶ假の名で眞實の本職は何を匿さう患者の診察投藥を行る無免狀醫師だそうなが事實とすれば不都合と云はねばならぬ（京城醫師生）▲本町四五丁目の子供達は車が來ると其傍に走り寄つて手を差し延べて車輪の前に小石を置き之れを轢かして喜んで居る一度其の父の一人に忠告したが未だ止めない惡い危險な惡戲だ手でも轢れて後悔し玉ふな（春部）▲ケイアイ生君御遠慮に及ばず何時にても御來社あれ併し午前中の方が都合よろし何御相談の内情が容にても知れて居れば好都合なり（相談係）▲或る丁稚が云ひました先日私しは茶碗を破つて隱して置いたのを主人が知つて割つたのは過ちだ致し方がないが隱したが惡いつて大いに叱られました私は或る程を思ひましたが今日又折惡しくホヤを割りましたから今度は隱さず直ぐに詫びましたに主人は「馬鹿奴がさう〳〵するから破つたりするのだ今度破つたら償はすぞ」と怒られました、嗚呼丁稚今度過ちを仕たときには如何なる所置を取るだらうか（春部）▲井門本店の玉蝶さんお前はホントに可愛い妓だねえ—此れで宜いかい—ハヽヽヽ（御存じの）▲僕は酒を飲むのには日本料理を歡迎するが飯を食ふには西洋料理が好ましい支那料理は番外だ（食辛棒）▲東大門外の秋景は何等の奇趣はないが暢びりとした所がある淸風溪洞頭の眺望は京城內に於ては隨一であらう、此の洞頭に派出所があるが此所の查公なぞは嘸や壽命の延びる事だらうと羨ましいと思ふのは此方の事で巡查君の身になつたら羨まれる程のとでもないかも知れぬ（素人）

貸地

龍山新市街有望の宅地埋立濟一坪五錢以内御望の方は龍山本町二丁目中野支店方へ御來談を乞ふ



●天氣豫報（自十八日午後六時至十九日午後六時）

東風曇少雨

十七日（華氏） 最高溫度 七二、九 最低溫度 四六、九

謹告

無害ノ煙草ヲ御照會致シマス

EDP金口莨

は純埃及産にて好弊を含み齒質を堅牢に致シマス故に衞生を重んせらるゝ好莨諸彥には特に御愛顧を蒙る次第で御座リマス直段は百本入七十五錢以上色々有マス

不抱多少御用命御付被下度奉願候

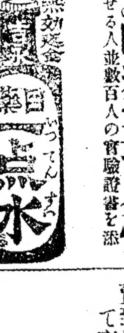
洋葉卷 金口莨 パイプ

直輸入商 卸賣 小賣 日希商會 主任メニヤス 電話二二三番

京城新報 雜報（九月廿二日の）にある

●奇効ある一點水 大坂市南區新瓦屋町四十三番地に住する浮世畫家久武忠雄は去る明治三十七年三月一日の朝新聞を讀み居る際ふと眼球に痛みを覺えたりしが僅かに三十分程にて全く失明したるに驚き同地北濱醫學士山縣眼科院及同心齋橋南詰西入岩崎眼科院、緒方病院等の治療を受けしに到底全快の見込なしとのことに泣く〳〵畫筆を擲つて大坂高等鍼灸學校に入り斯學を修め早や卒業に近づきし時東京タイガー商會にて製劑する一點水なる目藥を勸むる人あり之を用ひたるに不思議にも日一日と奇効を奏し昔に變らぬ睛眼となりしより又も鍼灸術を捨てゝ舊の畫家に歸りたる不思議な事實を聽き橫濱病院長須藤氏は之を眼科部に試用せしに意外な好成績を得又同淺水眼療院にても之を試驗して手術を要せざる眼疾には之れ以上の有効劑は無いとの證書を與へられたるに其本舖は之れを名譽として爾後貧民病者に限り無代にて施藥し居ると同商會より通信

此名譽の歷史を有する奇藥は左に 拾年の眼病壹壜にて全快せる人並數百人の實驗證書を添



しみず痛まず壹夜內に奇効 顧る妙藥にて諸眼病を即治 壹貳壜用 他藥に迷はず早く試よ 無効時は返金 壹壜十錢各藥店にあり

工事請負入札廣告

一京城々北洞三角山簡易砂防工事

右入札ス請負希望者ハ本日ノ官報ヲ見ヨ

隆熙三年十月十九日 農商工部

會長平賀博士

明二十日午後八時南大門驛着御來京の筈に付此段會員諸君に告ぐ

十月十九日 丁酉倶樂部 韓國支部

●●●滋養と牛乳●●●

純良 牛乳 馬車配達

京城東四軒町 岡野牧塲 電話壹〇六九番

●●●衞生と消毒●●●

角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門橫

綿 わた ワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

卸問屋 唐川商店 京城明治町一丁目四ツ角 電話六一二番

半衿珍柄荷着

十月廿日より向ふ一週間正札より一割引

明治町一丁目 ゑり德

謹告

肅啓陳者時下秋冷の候各位愈御清祥に被渡奉大賀候却説弊店儀先に數年來當地に出張販賣中は多大の御用命を蒙り有難奉感謝候就ては今回左記の場所に出張店を開始仕弊店獨特の本場秩父縞及裏絹（自製）並に八王子織物西陣御召等專門に品質は元より價額も能ふる限り仲間取引同樣極めて薄利を以て販賣致候間爾後多少共御用命御引立の程伏て希願上候追て商品は御注文次第持參仕御高覽に供し候敬白

本店 埼玉縣秩父郡大宮町
支店 東京本石町三丁目

秩父屋號 關根寅吉商店

關根出張店 明治町一丁目九十八番地 電話六六九番（取次）

韓國秋季自轉車競走大會

十月廿四日日曜日 雨天次回日曜日 レース場（龍山停車場前）

發起人 京龍各自轉車店 京城新報社

選手申込所

一とろゝ汁 拾貳錢

一麥飯 五錢

會席御料理 御一人前金五十錢 外二品御酒一本付 吸もの、さしみ、口取

京城曙町（元大韓日報社跡二階建） 俵すし 松善

折詰御辨當及出前は特に勉强御調進可申候間多少とも御注文希申候

日本デパートメントストアー第一

日本一の實用靴

ビデチス形編上靴と深ゴム靴

(甲)五圓—獨逸ボックス製

(乙)四圓—東洋ボックス製

小包料は內地十八錢清韓臺灣へは卅五錢

御注文の節は(一)編上靴か深ゴム靴か(二)價五圓か四圓か、(三)足袋の大いさ、(四)甲高か、甲並か、甲低なるかを御示し被下度候。

御手紙一本にて御用の品は御望み次第

三越呉服店はデパートメントストーアなれば其販賣品目は千種萬別、その數極めて多けれども、御手紙にて御註文下され候はゞ早速御送附可申上、もし前金御送附無之候はゞ代金引換小包郵便にて御屆け可申上候。僅かなる御品にても、是非弊店へ御註文の上其の如何に便利なるかを御試し被下度候。

紋付、染物、仕立物等御下命の際は半額だけの內金を御拂込被下度候。代金の御送附は銀行爲換、郵便爲換、何れとも御便利の方法によられ度候。振替貯金(東京三〇〇番)を利用せらるれば御註文も御送金も無料にて相辨じ申候。

當店の商品を說明せる「地方注文の栞」は御申越次第御送呈可仕候。

ロンドン流行の洋服

弊店調製の洋服は總てロンドン式に御座候。地質は何れも直輸入の品に限り、裁縫は念にも念を入れ可申、御申越次第繪形定價表御送り可申上候。

紳士用二重トンビ 十七圓以上

紳士用インバネス 十三圓以上

婦人用東コート 十一圓以上

右何も最新の流行に倣ひ調製仕候。

最新流行日要品

◎シルクハット 八圓以上

◎中山高帽子 三圓五十錢以上

◎流行中折帽 二圓卅錢以上

何れも英國グリステー及バッタースビー會社の製品にして、本年の特約品。

◎ハンチング帽(折返付) 二圓二十錢

◎ハンチング帽(耳付) 一圓九十錢

◎ハンチング帽(普通形) 一圓三十錢

◎縞絨中折帽 二圓三十錢

帽子類御注文の際は御頭の大さを是非共御示し被下度候。

◎縞毛布 一枚 六圓卅五錢

片面は無地、片面は縞の極厚き地質。

◎衞生シャツ 一枚 一圓廿五錢 上下一組 二圓五十錢

上質のメリヤス製、男子用、婦人用へチマ襟形婦人用襦袢襟形の三種あり。

東京最新流行品

◎彌生お召 一反十八圓位

◎金紗お召 一反十八圓位

何れも縞お召中の逸品にして、本年の新製品。

◎清綾織 一反十八圓位

◎銘綾織 一反十二圓位

紳士用として最上の御品。

◎優好織 一反十圓以上

本年の新製品にして金紗縮お召の趣きを備へ、しかも價は極めて廉。

◎小紋縮緬 一反十五圓三十錢より

◎小紋太綾 一反四圓五十錢より

柄合は種々取揃へ置申候、御註文次第御紋定等入可申上候。

◎こかね紬 一反二圓八十錢

紬の如く見ゆる新柄の双子織

◎セスガ織[illegible] 一反四十錢

高尚なる模樣を染出したる實用品

東京にて流行する御婦人の服裝は?

目下の流行に後れざる服裝を御調へ遊ばすには、三越へ御註文遊ばさるこそ最上の策といふべけれ。今御參考の爲め、東京に於ける流行の一班を御知らせ申さん。

一昨年あたり流行を極めたる納戸色より一轉して本年は藤色となりたり。藍鐵の如き强き色は廢れて之に代ふるに極柔かき藤色系統の色が流行せり。模樣は光琳風を最とし、時代有職風又たは能衣裝風を加味せる模樣もチラホラ見受けらる。地質は何んと申しても縮緬が第一なり。鶉縮緬は之に次ぐ。

訪問服などには紋織風の者そろ〳〵流行し始む。新製品としては光華御召、共紋御召などあり。縞御召は流行といふは語弊ある位に盛に行はれ、已に實用品として其用途の廣き誠に想像の外なり。何處にか縞お召を召されざる奥樣令孃ありや。優好織といふ新製品亦よろし。丸帶として最も勢力あるは綴珍織、厚板織なること何時も變りなし、流行品としては金紗錦、糸錦、唐織など最も持て囃さる。模樣は何れも單純なる者。澁向には綴縮緬、高浪織など流行せり。片側帶としては、コントラスト織又は博多織など何もよろし。

御仕立上り直段

色紋縮緬八掛付二枚襲 六十圓より

色紋縮緬綿入羽織 廿二圓より

縞御召重綿入 廿五圓より

友禪縮緬長襦袢 廿二圓より

繻珍又は厚板丸帶 廿五圓より

綴縮緬丸帶 廿八圓より

コントラスト織色繻子合帶 十四圓より

流行の織物定價

金紗錦丸帶 六十圓より

糸錦丸帶 五十圓より

唐織丸帶 四十圓より

高浪織片側帶 九圓より

博多片側帶 七圓より

光華御召 十八圓位

共紋御召 十九圓位

優好織 十圓位

實用懷中時計

五圓

瑞西製ニッケル側十七形中蓋付ドミナトル爪石入アンクル

東京流行の肩掛

種類は吾妻ショール(二圓六十錢)松島ショール(五圓)ゴブラン織ショール(七圓八十錢)九重ショール(六圓)櫻井ショール(三圓四十錢)獅子ショール(二圓十五錢)スカラーショール(五圓五十錢)及小供用として、突羽根ショール(三圓廿錢)衣笠ショール(一圓卅錢)を始め澤山準備仕候

二枚續白毛布

價は四圓廿五錢といふ破天荒の低廉

(小包料は內地廿四錢、淸、韓、臺灣、樺太へは四十錢)

實用品として、近頃大に賞用せらるゝ白毛布を以上の如き廉價にて發賣仕候。表裏に薄藍と茶との縫出線入。

子ツト子クタイ

英國製一本七十錢

目下歐米に於て最も流行せる人造絹糸製の編み子クタイなり。弊店の輸入にかゝるもの、無地、霜降、横縞、竪縞など柄合ひは御好み次第。

舶來 化粧石鹸

◎英國製レバー石鹸 一箱(三個入)一圓

◎米國製スキフト石鹸 一箱(三個入)五十錢

京染木綿紋付

地質は頗る精選、西京の特別染織等品を左の如き特價にて發賣仕候。何れも本身の石持。丸形の御紋に候はゞ早速書き入れ差上可申、紋入代は三ッ紋は廿五錢、五ッ紋は卅五錢相掛り申候。紋の書き入を御用命の際は、可成前金にて御注文被下度候。

一反定價	黑瓦斯羽二重	黑瓦斯斜子	黑瓦斯眞岡	黑眞岡
五ッ紋付羽織	三圓四十錢	二圓六十五錢	二圓〇八錢	一圓五十八錢
五ッ紋付着尺	三圓四十錢	二圓六十五錢	二圓〇八錢	一圓五十八錢
三ッ紋兩用	三圓四十錢	二圓六十五錢	二圓〇八錢	一圓五十八錢
五ッ紋付八掛付	四圓五十五錢	三圓四十五錢	二圓七十三錢	二圓〇八錢
三ッ紋付八掛付	四圓五十五錢	三圓四十五錢	二圓七十三錢	二圓〇八錢
筒袖三ッ紋羽織		二圓三十八錢	一圓九十錢	一圓四十五錢

右何れも本身の直段に候得共、此他四ッ身さしては、筒袖、長袖、袖下模樣等澤山取揃申候。

銀盃

銀盃類は左の定價にて念入に調製可仕候。何れも桐柾目箱入、帛紗付に御座候。

銀盃一個定價	
徑二寸	三圓五十錢
徑三寸	五圓二十五錢
徑四寸	九圓二十錢
徑五寸	十六圓二十五錢

銀盃三ッ組定價	
徑三寸	十二圓七十五錢
徑四寸	二十圓二十五錢
徑五寸	三十三圓
徑六寸	五十圓

文字又は繪畫の彫刻は御好み通り。金盃及び銀器等は特に御照會被下度候。

東京日本橋 三越呉服店